

■コメント

1. 感染性胃腸炎

定点当たり4.13人の報告がありました。

例年冬季はノロウイルスなどのウイルス性の感染性胃腸炎が流行します。今後患者数が増加すると予測されるため、注意が必要です。

手洗いの励行など感染予防対策を心がけましょう。(次頁参照)

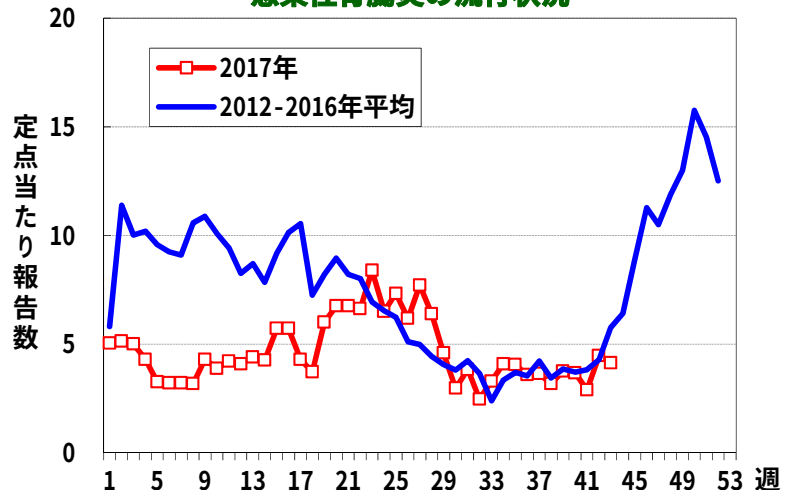
2. 手足口病

定点当たり2.54人と、2週続けて増加しています。

3. 腸管出血性大腸菌感染症

1件の報告があり、今年の累計は16件となりました。

感染性胃腸炎の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィルン	インフルエンザ	1	0.03	0.08	
小児科	咽頭結膜熱	12	0.50	0.30	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	59	2.46	1.77	⇒
	感染性胃腸炎	99	4.13	5.76	⇒
	水痘	2	0.08	0.47	
	手足口病	61	2.54	0.90	⇒
	伝染性紅斑	-	-	0.12	
	突発性発しん	7	0.29	0.51	
	百日咳	-	-	0.05	
	ヘルパンギーナ	8	0.33	0.29	
	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.77	
眼科	RSウイルス感染症	22	0.92	0.96	⇒
	急性出血性結膜炎	-	-	0.03	
	流行性角結膜炎	3	0.38	0.53	
	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	無菌性髄膜炎	-	-	0.09	
	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.29	
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	基礎				
	基礎				

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	↖	↙	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	→	←	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	114	男性(80歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	16	女性(10歳未満)・O26
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	女性(40歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

			インフル エンザ	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	RSウィ ルス感 染症	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜 炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズ マ肺炎	クラミ ジア肺 炎	(口タウ ウイルス)	感染性 胃腸炎
報告数	広島市	第39週	18	9	44	90	9	43	-	6	-	7	1	63	-	4	-	-	-	-	-	-
		第40週	7	6	53	88	10	38	3	4	-	5	1	41	-	3	-	-	-	-	-	-
		第41週	3	5	40	69	4	25	2	9	-	5	3	35	-	6	-	-	-	-	-	-
		第42週	3	8	58	107	10	43	-	4	-	5	5	27	-	4	-	-	-	-	-	-
		第43週	1	12	59	99	2	61	-	7	-	8	1	22	-	3	-	-	-	-	-	-
定点当 たり	広島市	第39週	0.49	0.38	1.83	3.75	0.38	1.79	-	0.25	-	0.29	0.04	2.63	-	0.50	-	-	-	-	-	-
		第40週	0.19	0.25	2.21	3.67	0.42	1.58	0.13	0.17	-	0.21	0.04	1.71	-	0.38	-	-	-	-	-	-
		第41週	0.08	0.21	1.67	2.88	0.17	1.04	0.08	0.38	-	0.21	0.13	1.46	-	0.75	-	-	-	-	-	-
		第42週	0.08	0.33	2.42	4.46	0.42	1.79	-	0.17	-	0.21	0.21	1.13	-	0.50	-	-	-	-	-	-
		第43週	0.03	0.50	2.46	4.13	0.08	2.54	-	0.29	-	0.33	0.04	0.92	-	0.38	-	-	-	-	-	-
	全国	第41週	0.17	0.39	1.44	2.86	0.24	1.86	0.06	0.41	0.01	0.36	0.30	1.46	0.01	0.79	0.02	0.03	0.35	-	-	-
		第42週	0.24	0.44	1.80	3.36	0.33	1.78	0.05	0.41	0.01	0.41	0.34	1.26	0.01	0.82	0.03	0.04	0.37	0.01	0.01	0.01

■新たに判明した病原体検出状況

(検査:広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	発熱 上気道炎 下気道炎 下痢	0	男	2017/09/19	糞便	エコーウイルス25型
その他の呼吸器疾患	気管支炎 細気管支炎 鼻炎	1	男	2017/09/17	鼻汁	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	気管支炎 細気管支炎	2	女	2017/09/18	鼻汁	ライノウイルス
その他の消化器疾患	発熱(38.0) 嘔吐 下痢 腹痛	1	男	2017/09/10	糞便	アデノウイルス2型
その他の疾患	発熱 肝機能障害 血小板減少	0	女	2017/09/01	咽頭拭い液 糞便 尿	コクサッキーウイルスB2型
その他の疾患	発熱(38.8)	0	女	2017/09/02	咽頭拭い液 糞便 鼻汁	エコーウイルス25型
その他の疾患	発熱 紅斑 咽頭炎 肝機能障害 リンパ節腫脹	2	男	2017/09/08	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の疾患	発熱(40.0) 関節炎 関節痛 筋肉痛	11	男	2017/09/15	咽頭拭い液	コクサッキーウイルスB4型

*感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

● ノロウイルスによる感染性胃腸炎に注意しましょう ●

[予防のポイント]

◆ 手洗いの励行

最も基本的なことは、手洗いの励行です。(特にトイレの後、便や吐物を処理した後、調理や食事の前など) 手洗いは石けんを使用し、しっかりと流水で洗い流してください。

◆ 食品の十分な加熱

二枚貝等ノロウイルス汚染のおそれのある食品は、中心部まで十分加熱(85～90℃で90秒間以上)しましょう。

◆ 調理器具などの消毒

調理器具などは、洗剤を使用し十分に洗浄した後、塩素系消毒剤(*)または熱湯で消毒しましょう。

◆ 便・吐物の適切な処理

患者の便、吐物には多量のウイルスが含まれていますので、処理の際には手袋やマスクを着用し、塩素系消毒剤(*)で消毒しましょう。

*塩素系消毒剤としては家庭用塩素系漂白剤があります。使用に当たっては「使用上の注意」をよく読んで、適切な濃度に希釈して(薄めて)から使用しましょう。

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2017年第43週(10月23日～10月29日)